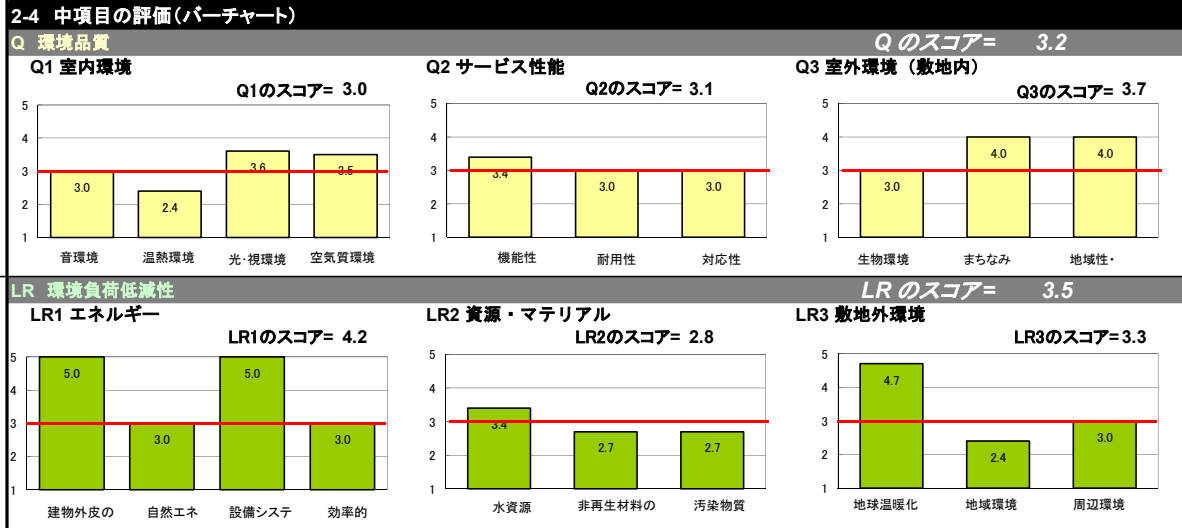
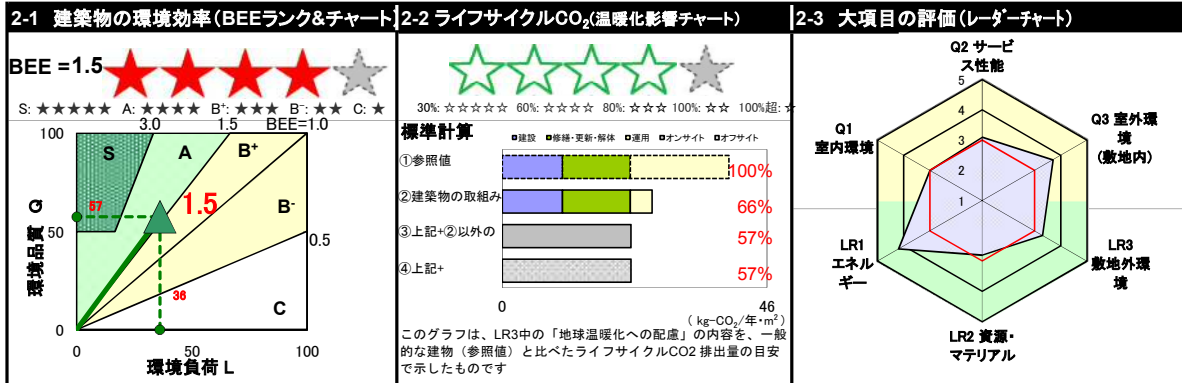


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	豊田市立朝日丘中学校	階数	地上4階		
建設地	愛知県豊田市朝日ヶ丘4丁目1 他	構造	S造		
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	1,125 人		
気候区分	5地域	年間使用時間	2,542 時間/年		
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2019年3月15日		
敷地面積	38,986 m <sup>2</sup>	作成者	稲本龍治		
建築面積	1,964 m <sup>2</sup>	確認日	2019年3月15日		
延床面積	6,454 m <sup>2</sup>	確認者	稲本龍治		



### 3 重点項目


<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.7</p> 	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">14.0 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.8</p> 	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$


 みんなの環境活動を応援しています



<b>3 対応性・更新性</b>				3.0	0.29		-	3.0
3.1 空間のゆとり				3.0	0.31		-	
1 階高のゆとり				3.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38		-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22		-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30		-	3.7
1 生物環境の保全と創出		独自③		3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	外観は落ち着いた色彩とし周辺のまちなみに配慮した。	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			既存樹木を可能な限り残置し、既存の自然環境に配慮した。	4.0	0.30		-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	昇降口にはポーチを計画し、雨天時の快適性にも配慮した。	5.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>								3.5
<b>LR1 エネルギー</b>								4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			BEI = 0.22 (モデル建物法による)、BPI=0.59	5.0	0.30		-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI = 0.22 (モデル建物法による)	5.0	0.30		-	5.0
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-	-		-	
4.1 モニタリング				-	-		-	
4.2 運用管理体制				-	-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>								2.8
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水			節水型衛生器具を採用した。	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63		-	2.7
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	仕上材に木材を積極的に使用した。	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.7	0.22		-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.68		-	
1 消火剤				2.0	0.33		-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33		-	
3 冷媒				3.0	0.33		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>								3.3
1 地球温暖化への配慮		①	緑地面積の確保に配慮した。	4.7	0.33		-	4.7
2 地域環境への配慮				2.4	0.33		-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		独自	客用駐車場は正門付近に配置する計画とした。	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音		独自		3.0	1.00		-	
2 振動		独自		-	-		-	
3 悪臭				-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.60		-	
2 砂塵の抑制				3.0	0.20		-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.20		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.7</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.7	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>3.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:14%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 豊田市立朝日丘中学校

計画上の配慮事項	
総合	生徒の学習環境に配慮し、通風・採光を取り入れやすい位置に窓を設け自然通風・自然採光に配慮した。また、木材を各仕上げに採用し、木の温かみを感じ落ち着いた雰囲気作りに配慮した。
Q1 室内環境	教室部分にLow-E複層ガラスを採用して空調負荷に配慮した。
Q2 サービス性能	便所前の空間や廊下にベンチを設けるなど、生徒同士の交流場所づくりに配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	透水性アスファルト舗装を採用し雨水流出の抑制に配慮した。
LR1 エネルギー	太陽光発電設備を採用し、自然エネルギー利用に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	室内空気汚染防止に配慮し、F☆☆☆☆材料の認定を受けた仕上材料を採用し、化学物質の発生の抑制に配慮した。
LR3 敷地外環境	既存の樹木を残し、樹木や地被植物を建物周辺に配置し、敷地内の景観・緑化に配慮した。
その他	仮設校舎を建設しない計画を採用した。